

審査から

平成29年度決算(一般会計・特別会計)
・平成29年度病院事業会計決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月7日・14日に議案19件、請願1件、認定2件の審査を行いました。

総務

9月7日・10日・14日に議案7件、認定1件の審査を行いました。

委員 熱中症緊急対策に関する
請願について
く高齢者、障がい者、子どもがいる世帯などへの
エアコン等の購入補助制
度の実施を求める
委員 熱中症対策周知は何かやっているのか。
高齢者福祉課長 熱中症予防に関する普及啓発として、介護保険料の決定通知書を送付する際に、封筒に熱中症への注意書きを明記し、高齢者に配付している「高齢者のための暮らしのてびき」で注意喚起の記載を掲載しています。また、保健所で発行しています「みんなの健康だより」7月1日号において、熱中症予防において大変重要な水の補給に関して情報提供を行うなど、普及啓発に取り組んでいます。

委員 今後さらに周知とか、こういった手を打つということを考えている、あるいは今後のテーマとして検討するんだという思いがあるのか。
いきいき生活部長 町田市も高齢化がますます進んでいくことで、高齢者施策全体で費用が膨らんできている部分があります。新しい事業について検討するときには、まずは財政面ということが言えると思います。この事業に関して言うと非常に効果が限定されている部分もあり、有効性も十分考える必要があります。国や都、他自治体の動向等も注視しなければいけないということ、ここ数年で実施するとかは余り考えられませんが、暑の問題がありますので、そういう中で考えていければと思います。

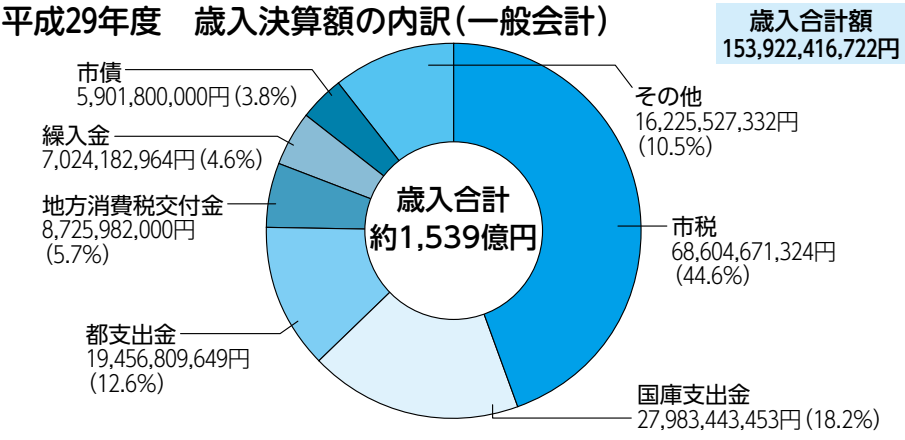
決算審査(健康福祉)
認定すべきものと決定

- ・高齢者あんしんキーホルダー売払いについては年齢制限なく、多くの市民の方々に所持して頂き、高齢者見守り意識の向上を図られたい。
- ・福祉輸送サービス事業の総括については、実施時期を想定し、それまでのスケジュールを明記されたい。
- ・障がい者支援センターの委託先事業者に対する適正な予算措置を講じ、円滑なセンター運営ができるように図られたい。
- ・わくわくプラザ町田の講習室・会議室の利用率の向上を図られたい。
- ・シルバー人材センター作業員については今夏の熱中症で入院、死亡原因になったケースもある。作業員の健康管理を求める。
- ・経済上や身寄りがないなどの特別の事情がある高齢者については、養護老人ホームや特別養護老人ホームの積極的措置入所を勧められたい。
- ・高齢者福祉センターの老朽化に伴う改修工事を急がれたい。またその際は、利用者ニーズをよく把握して、浴室やマッサージ機などの人気サービスの継続を図られたい。
- ・健康福祉会館で行われている休日・準夜急患こどもクリニックや休日応急歯科・障がい者歯科診療所等は一部土曜日夜間等に対応していない。市民が健康で安心して暮らすことができるまちづくりの推進を図るためメディカルセンター化等を検討されたい。
- ・国民健康保険事業の収支改善について、保険税収納率改善やジェネリック医薬品促進、医療費適正化等の施策を進める一方で、財政改革のために被保険者の健康促進策(健康寿命)をさらに推進されたい。
- ・地域包括ケアシステム充実を図るため、勉強会や実地指導をより充実させ、ケアマネジメントの効率化とともに一層の質の向上に繋がるよう努められたい。

【認定第2号】

- ・財務については、医業収益が低下しないように努力し、経常損失、純損失の圧縮を図られたい。中期経営計画に基づき2020年度経常収支黒字に向けて取り組まれたい。
- ・呼吸器内科の常勤医の確保など、医業収益減や病床稼働率の低下を招く医師不足の解消を図るために、抜本的対策を講じられたい。

など計32件の意見を附帯決議として付しました。



委員 オリンピックにかかわっていく町田市のメリットが、派遣されている3名の方々の仕事のいかんによって変わってくるイメージか。
職員課長 3名のうち2名が今年度末で戻ってくる予定になっています。向こうで培ったノウハウをこれからオリンピック・パラリンピックに向けて町田市で生かしてもらおうと考えているところです。
委員 条例改正をする主な目的というのは何か。
職員課長 今までは研修派遣ということで、平たく言うとな件費をこちら側で全て持つて派遣していたということになります。ただ、今回、オリンピックのほうから、派遣法派遣に基づいて事業者負担分を一部負担していただけというお話になりましたので、そうすると、研修派遣ではなくて派遣法で派遣するということ、今回、条例改正に至っているところです。

室内プール改修空気調和設備工事請負契約
委員 耐久性という点では何年ぐらい見込んでいるか。
営繕課長 一般的には20年程度と言われています。現場を確認しながら、今ここで29年もたすことができたということ、ただ、やはりここで改修しないと、この先、使いくなくなってしまうので今回改修させていただくということです。

決算審査(総務)
認定すべきものと決定

- ・職員のメンタル疾患の予防により努め、特にメンタル疾患の病休者の減少、復職後の再発の防止に努められたい。
- ・より適正な契約事務が行えるよう、契約方法について検証し、改善されたい。
- ・「ふるさと納税」については、法人への周知も含め、更なる認知度向上を図られたい。
- ・未使用地及び低利用地の処分や活用方法を適時出来るよう準備しておくべきと思う。ならびに、市民の皆さまにも早い公表をされたい。
- ・庁用車事故の削減に向け、職員の意識向上を図る取り組みをさらに進められたい。
- ・地球温暖化防止の観点からも、庁舎二酸化炭素排出量の削減の為、多方面から取り組みを進められたい。
- ・公共施設再編計画の検討にあたっては、採択された関連請願の趣旨と内容を反映させられたい。
- ・2017年度の差押は、2394件
2016年度の差押は、2251件
差押設定せざるを得ない状況で設定したならば、債権回収出来た段階で設定解除をしなくてはならない。設定解除漏れがないか、急ぎ調査されたい。
- ・滞納整理にあたっては、納税者の生活再建をふまえた対応をされたい。
- ・更なる都市農業振興のため、いわゆる生産緑地2022年問題に向け、生産緑地所有者に対し関係法規の周知を徹底されたい。
- ・山林バンク事業を積極的に進め、更なる山林等の活用面積を増やすよう努められたい。
- ・町田新産業創造センターは、他に類を見ない充実施設であるが、創業企業が育った段階での本市に残る対策が取られていない。早急に行われたい。
- ・町田市が指定し、バスターミナルから発車する観光バスの利用者にわかりやすいようにするために、バスセンターや鉄道出入口付近にも観光バスの発車場の場所の案内を表記されたい。

など計23件の意見を附帯決議として付しました。

